

## JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	漆崎 隆	会員番号:	13040	事務局整理記入欄	北海道 - 137
分水嶺区分:	P901～H204沖沢山	(3) 山行日:	2005年 3月 19日	(4) 天候:	曇り・積雪1.3m		

(5) 参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
漆崎 隆	13040			中村喜吉	10978		
				片岡 次男	12093		
計				計			
1名				2名			

### (6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		八雲温泉 沖沢山											
アプローチ:		札幌 R230 R5 八雲(車中泊) 沖沢山 姫待峠 八雲 札幌											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	八雲温泉	砂蘭部岳	140	7	38.99	42	10	59.82	212.6	13:45	8:25	B-4	8
分水嶺到達点		砂蘭部岳	140	9	34.07	42	8	58.93	898.5	13:45	14:00	B-4	
	P901	砂蘭部岳	140	9	39.26	42	8	59.63	904.7	14:06	14:08	B-4	
歩行終了点	H204 沖沢山	砂蘭部岳	140	10	38.12	42	8	2.15	948.7	16:47		B-4	8・C1
総歩行時間(休憩時間を除く)											7時間30分		

### (7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H204	沖沢山				積雪のため確認不能。

### (8) 人工施設の現況および地形図との相違点

八雲温泉からオボコ山荘へ至る2kmのうち500mほど除雪されていて車で入ることが出来た。
オボコ山荘までは旧鉱山宿舎跡や神社跡等が点在している。オボコ山荘から山美湖へ至る道は橋が完全に崩壊しており渡渉を繰り返す。
山美湖横の水路が未だに形を留めている。
沖沢山から南にのびる尾根は地形図には表れない岩稜地帯となっており、途中ピナクルもある。

### (9) 水および植生に関連した特記事項


### (10) その他の特記事項

片岡氏に分水嶺到達点までの同行をお願いする。中村氏はアプローチをサポートし、定時交信を担当。

### (11) 写真の添付:( 有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: